

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

男女混合ディンギー種目、岡田／吉岡組は暫定 3 位でメダルレースへ
男女混合マルチハル種目は総合 17 位で大会を終える



470 級インシデントの瞬間 ©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

レース 10 日目。マルセイユは今日も風が弱く、男女混合ディンギー種目 470 級はジリジリするような微風の中、2 レースを実施。オープニングシリーズは全 8 レースで終了しました。

470 級の岡田奎樹／吉岡美帆組は、9 位-3 位でフィニッシュ。暫定 3 位で明日のメダルレース進出を決めました。オープニンシリーズの上位 10 艇によって争われるメダルレースは、得点が通常の倍（1 位 2 点、2 位 4 点……）になります。岡田／吉岡組と暫定 1 位のオーストリアとの点差は 11 ポイント、暫定 2 位のスペインとは 4 ポイント差のため、十分逆転が狙えます。しかし 4 位のスウェーデンとも 4 ポイント差です。明日のメダルレースは痺れる展開となりそうです。

男女混合マルチハル種目 Nacra17 級は、今日 3 レースを行い全 12 レースのオープニングシリーズが予定どおり終わりました。飯東潮吹／西田カピーリア桜良組は 11 位-17 位-11 位とまとめ総合 17 位で大会を終えています。

今日予定されていた男女ディンギー種目 ILCA6/7 級のメダルレースは風が弱く、実施できませんでした。メダルレースは明日に持ち越し。明日は ILCA6 級、ILCA7 級、Nacra17 級そして 470 級の 4 種目でメダルレースが行われる予定です。

成績 & スケジュール（ワールドセーリング五輪公式大会サイト）

<https://paris2024.sailing.org/racing/results-centre/>

（審問により成績が変更される場合があります。またレーススケジュールはコンディションによって変更されますので、必ず最新情報をご確認ください）



Nacra17 級の出場した総合 17 位となった飯東潮吹選手（左）と西田ピーリア桜良選手

©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

[選手コメント]

Nacra17 級クルー・西田カピーリア桜良選手

「初めてオリンピック、初日はその雰囲気に緊張しましたが、2 日目以降はいつもの大会と同じように、意外に緊張せずにできました。私たちのチームは怪我や病気などもあり、練習できない期間があったので、技術的にはまだ上位陣とは差がある状態ですが、今日は自分たちの得意風域で強みを出せるレースで、3 レースを通して良いスタートができて、3 レース目は上マークまで 3 位でした。それは素直に嬉しかったです。本当に多くの方に支えていただいたキャンペーンだったと思います」

Nacra17 級スキッパー・飯東潮吹選手

「今日は良いレースができました。ふんばった、がんばったという感じです。3 レースしっかり考えて、もちろん全レースそうしていますが、今日はコースの選択も良く、しっかり勝負に出られました。自分たちは今日が最終日となりますが、最後のレースは狙い通りのスタートができ、納得するレースができました。ただ、セーリング競技に関して完全燃焼は一生することはないですね。ずっと燃え続けているという感じです。いろいろな方に支えられて、応援されてここまで来ることができました。この経験を形にして貢献していきたいです」

470 級クルー・吉岡美帆選手

「1 レース目はいいところを走っていましたが、2 度目の上マークで艇を当ててしまって、すごくもったいなかったなあと思います。ただ、9 位で入れたのでまあよかったなと。2 レース目は序盤はいい位置につけていて、最後は 1 艇抜かれましたが 3 位で終われて良かったと思います。

(中止になった 3 レース目を) 待っている間は、やりたい気持ちとやりたくない気持ちとどちらもありました。もう少し上と点数を詰めたかったし、後ろとも離れたかったので、どっちかというやりたかったです。ただもっと離されるリスクもあったので、結果的には中止になって良かったのかもしれませんが。

前回の東京大会の時は、メダル獲得は難しい状態でメダルレースに進みましたが、今回は上とも下とも近いので、なんとしてもメダルは獲得したいです。明日は銀を狙いにいくのか、銅を守るのかでやり方は違ってくると思います。(得点差の少ないチームと一対一の) マッチレースが始まってしまったらマッチレースをやるしかありません。それをこちらから仕掛けるかどうかはまだ分かりません。

今日、何を食べたいか？うーん、無理ですけどお寿司かな」

470 級スキッパー・岡田奎樹選手

「今日はある程度点差を意識しながら、3 レースやって明日に向けて上とトントンぐらいに持っていけたらいいなあと思ってレースをしていました。暫定 2 位のスペインと 1 位のオーストリアに勝ちにいかうとタッキング合戦し、ちょっと絞めたレースをしていたのですが、途中でポルトガルが入ってきちゃって。正直、ちょっと邪魔だなと思いました。その後、艇団が団子になった時にインシデントがあり、規則的に自分達がペナルティターンをすることになり、順位を下げたことがもったいないと思います。

点差が近い艇をどこまで追っかけるのか、どこで切り替えるのか。今振り返ってみれば、そういう練習はあまりしてこなかったかもしれません。追いかける時は追いかけるし、追いかけないときは追っかけない、けっこうスパンと分かれる練習をしていて、どれがミックスして

いるような練習はしていませんでした。練習でやってないことをやったのが良くなかったのかなあ。

オーストリアは艇速が速いですね。初日はそう思わなかったのですが、何が違うかは分かりません。それが分かれば話は早いですよね。メダルレースのプランですか？内緒ですよ。楽しみにしてください。金は厳しそうですが、スペインに勝つ、スウェーデンに勝つこと。そして自分で7～8番を取らないようにすること。やることをやらないと負ける時は負けるので。明日は思いっきり楽しみたいと思います」

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 kohou@jsaf.or.jp

現地（西朝子）sailingnishi@gmail.com

+81-90-1042-9262（なるべく WhatsApp 等のアプリからおかけください）

写真に関するお問い合わせは上記までご連絡ください

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)